

会社の概要



(平成29年9月30日現在)

商号 任天堂株式会社
(英語名 Nintendo Co., Ltd.)
創業 明治22年9月23日
設立 昭和22年11月20日
資本金 10,065,400,000円
主な拠点 本社 京都市南区上鳥羽鉾立町11番地1
Tel 075-662-9600 (代表)
東京支店
宇治工場 (京都)
主な子会社 Nintendo of America Inc. (アメリカ)
Nintendo of Europe GmbH (ドイツ)
従業員数 5,458名 (連結)
株主総会 定時総会: 毎年6月開催
臨時総会: 必要に応じて開催
単元株式数 100株
基準日 期末配当基準日: 3月31日
中間配当基準日: 9月30日
公告方法 電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によ
って電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL
<https://www.nintendo.co.jp/ir/index.html>

取締役および執行役員



(平成29年9月30日現在)

地 位	氏 名
代表取締役社長	君 島 達 己
代表取締役 フェロー	宮 本 茂
取締役 常務執行役員	高 橋 伸 也
取締役 常務執行役員	古 川 俊 太 郎
取締役 上席執行役員	塩 田 興
取締役 (常勤監査等委員)	野 口 直 樹
社外取締役 (監査等委員)	水 谷 直 樹
社外取締役 (監査等委員)	三 田 村 善 生
社外取締役 (監査等委員)	梅 山 克 啓
上席執行役員	高 橋 成 行
上席執行役員	大 和 聡
上席執行役員	田 中 晋
上席執行役員	進 士 仁 一
執行役員	柴 田 聡
執行役員	Reginald Fils-Aimé

(注) 社外取締役 水谷直樹氏、三田村善生氏および梅山克啓氏は、株式会社東京証券取引所の定めに基づ
く独立役員であります。

株主メモ



- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について
お取引の証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました
株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行
株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出
ください。
- 「配当金計算書」について
同封の「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支
払通知書」を兼ねており、確定申告を行う際は、その添付書類と
してご使用いただくことができます。確定申告をされる株主様
は、お手続きの際に必要となりますので、大切に保管ください。
紛失等ございましたら、株主名簿管理人である三井住友信託
銀行株式会社にお申し出ください。

株主名簿管理人

三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

同事務取扱場所

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
大阪市中央区北浜四丁目5番33号

株主名簿管理人・特別口座管理機関への お問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

Tel 0120-782-031 (フリーダイヤル)

※ 受付時間 平日9:00~17:00

任天堂株式会社

京都市南区上鳥羽鉾立町11番地1



第78期 中間報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

Nintendo®

株式の状況



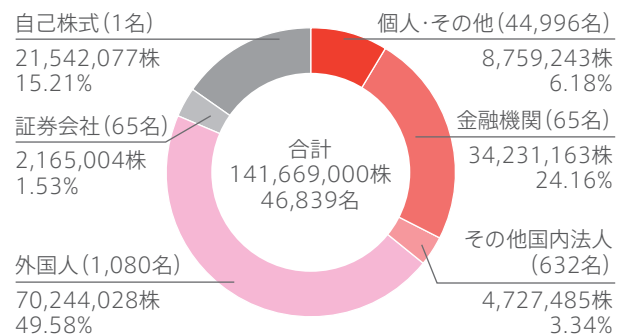
(平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数 400,000,000株
発行済株式の総数 141,669,000株
株主数 46,839名
大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
ジェービー モルガン チェース バンク 380055	102,373	7.23
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	62,271	4.40
㈱京都銀行	58,802	4.15
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱(信託口)	52,575	3.71
野村信託銀行㈱ (退職給付信託三菱東京UFJ銀行口)	47,647	3.36
日本マスタートラスト信託銀行㈱(信託口)	42,134	2.97
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱(信託口5)	23,252	1.64
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	19,074	1.35
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティەر 505234	18,410	1.30
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント	18,027	1.27

(注)当社は自己株式215,420百株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。

所有者別株式数比率



財務情報



連結貸借対照表 (要旨)

[単位: 百万円]

科目	当中間期末 (H29.9.30現在)	前期末 (H29.3.31現在)
資産の部		
流動資産	1,278,023	1,140,742
固定資産	348,099	328,235
有形固定資産	86,138	86,558
無形固定資産	13,251	12,825
投資その他の資産	248,709	228,851
資産合計	1,626,122	1,468,978
負債の部		
流動負債	317,845	184,109
固定負債	31,903	33,895
負債合計	349,749	218,005
純資産の部		
株主資本	1,262,546	1,262,239
資本金	10,065	10,065
資本剰余金	13,742	13,256
利益剰余金	1,489,366	1,489,518
自己株式	△ 250,628	△ 250,601
その他の包括利益累計額	9,469	△ 11,399
その他有価証券評価差額金	24,637	18,913
為替換算調整勘定	△ 15,168	△ 30,312
非支配株主持分	4,357	132
純資産合計	1,276,373	1,250,972
負債純資産合計	1,626,122	1,468,978

連結損益計算書 (要旨)

[単位: 百万円]

科目	当中間期 (H29.4. 1から H29.9.30まで)	前中間期 (H28.4. 1から H28.9.30まで)
売上高	374,041	136,812
売上原価	230,325	75,232
売上総利益	143,716	61,580
販売費及び一般管理費	103,755	67,527
営業利益又は営業損失(△)	39,961	△ 5,947
営業外収益	30,222	15,578
営業外費用	593	40,514
経常利益又は経常損失(△)	69,591	△ 30,883
特別利益	2,771	62,953
特別損失	1,153	25
税金等調整前中間純利益	71,208	32,043
法人税等	18,536	△ 6,261
非支配株主に帰属する中間純利益	1,168	5
親会社株主に帰属する中間純利益	51,503	38,299

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

[単位: 百万円]

区分	当中間期 (H29.4. 1から H29.9.30まで)	前中間期 (H28.4. 1から H28.9.30まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,437	△ 14,854
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,429	57,807
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 48,017	△ 14,401
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,174	△ 9,200
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 835	19,350
現金及び現金同等物の期首残高	330,974	258,095
現金及び現金同等物の中間期末残高	330,138	277,446

株主の皆様へ

代表取締役社長 君島 達己

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社グループの第78期中間期(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)の業績につきまして、その概要をご報告申し上げます。

事業の経過およびその成果

当中間期(第2四半期連結累計期間)の状況は、Nintendo Switchでは、7月に発売した『Splatoon 2』が国内外で人気となり、全世界で361万本の販売を記録したほか、それぞれ4月、6月に発売した『マリオカート8 デラックス』や『ARMS』の販売が順調に推移し、ハードウェアの販売台数は489万台、ソフトウェアの販売本数は2,202万本となりました。

ニンテンドー3DSでは、ハードウェアの新しいラインアップとして全世界で6月から7月にかけて発売した『Newニンテンドー2DS LL』が販売を伸ばし、ハードウェアの販売台数は286万台(前年同期比5%増)となりました。ソフトウェアでは、全世界で発売した『ファイアーエムブレム Echoes もうひとりの英雄王』や『メトロイド サムスリターンズ』の販売が堅調に推移し、ソフトウェアの販売本数は1,382万本(前年同期比28%減)となりました。

その他、『ニンテンドークラシックミニ スーパーファミコン』を9月に海外で、10月に国内で発売し、好調なスタートを切りました。また、amiibo(アミーボ)は、新たに発売したSplatoonシリーズなどでラインアップの拡充を図り、フィギュア型は約510万本、カード型は約280万枚の販売となりました。

ダウンロードビジネスは、特にNintendo Switchでのダウンロード販売が好調だったことにより、ダウンロード売上高は228億円(前年同期比55%増)となりました。

スマートデバイスビジネスでは、前期に配信を開始した『スーパーマリオ ラン』や『ファイアーエムブレム ヒーローズ』を、引き続き多くのお客様に楽しんでいただいており、スマートデバイス・IP関連収入等の売上高は179億円(前年同期比426%増)となりました。

これらの状況により、売上高は3,740億円(うち、海外売上高2,723億円、海外売上高比率72.8%)、営業利益は399億円、経常利益は695億円、親会社株主に帰属する中間純利益は515億円となりました。

今後の見通し

当社グループは、「世の中の人々を、商品やサービスを通じて笑顔にしていこう」という信念のもと、年齢・性別・過去のゲーム経験を問わず、誰もが楽しめる商品を提案することで、「任天堂IP(知的財産)に触れる人口を拡大する」ことに注力していきます。

Nintendo Switchについては、『スーパーマリオ オデッセイ』を国内外で10月に発売し、12月には『ゼノブレイド2』を発売するほか、ソフトメーカー様のタイトルも含め、有力なタイトルを発売する予定です。国内外での想定を超えるNintendo Switchへの需要に応えるため、生産体制を拡充し、少しでも多くの本体をお客様にお届けした上で、バラエティに富んだ魅力あるタイトルを継続的に投入することで、年末商戦を

着実に乗り越え、年明け以降もNintendo Switchの勢いを維持することを目指します。

ニンテンドー3DSについては、Newニンテンドー2DS LL本体の新色や特別仕様版を発売し、ソフトウェアにおいては、『マリオ&ルイージRPG1 DX』を10月に、『ポケットモンスター ウルトラサン・ウルトラムーン』を11月に国内外で発売しました。これらの新作タイトルと豊富な定番タイトルによってプラットフォームを活性化させ、ハードウェアの普及基盤を活かしてビジネスの最大化に努めていきます。

スマートデバイスビジネスでは、新しいゲームアプリ『どうぶつの森 ポケットキャンプ』を10月にオーストラリアで先行配信し、11月には配信国を拡大して提供して

います。引き続き、配信したアプリをより多くのお客様に楽しんでいただけるよう運営に注力すると共に、これまでの経験を活かし、新たなゲームアプリを継続的に投入することにより、スマートデバイスビジネスの拡大に努めます。

今後も「娯楽は他と違うからこそ価値がある」という「独創」の精神を大切にし、お客様に良い意味で驚いていただける商品やサービスを提供していきます。

これらの取り組みのもと、引き続き社業の発展に邁進する所存でございますので、株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。